



学びの庭

甲府市立甲運小学校
学校だより第10号
平成29年12月26日
(文責：勝村 正樹)



いよいよ明日から冬休み



校庭の木々もすっかり葉を落とし、冬支度となりました。本日無事に第2学期の終業式を迎えることができました。2学期は、授業日数が81日でした。その間、子どもたち一人一人が学習、運動、各種行事、体験活動などに一生懸命取り組み、たくさんのお話を学ぶことができました。実り多い2学期となりました。これもひとえに、ご支援ご協力いただきました保護者の皆様、地域の方々のおかげと感謝しております。

明日からは、子どもたちが楽しみにしている冬休みが始まります。冬休みには、年末年始の様々な行事が行われ、子どもたちにとってまたとない体験の期間ともなります。年末の大掃除には、家族の一員として責任を持たせることも大切です。また、元旦には、今年の抱負について家族で話し合ってみたらどうでしょうか。ぜひ、この休みを有意義な機会としてください。1月9日には、ひと回り成長した子どもたちに会えることを楽しみにしています。

「こころの通信表」とは…

今日の終業式で私は次のような話をしました。

- もし「こころの通信表」があったとして、その通信表は自分自身がつけること。
- 2学期の自分を振り返ってみることが大切であること。
- 自分ができる精一杯のことを一生懸命やったか。授業を真剣に受けることができたか。清掃や給食準備は協力して毎日できたか。係や委員会の仕事に真剣に取り組んだか。時間を守ることはできたか。
- 仲間を大切に人の気持ちを考えることができたか。不満があれば友達や先生にすぐにとげのある言葉をぶついたりしなかったか。ちょっとしたことでいらいらしたり、かっとなったり、物にあたりたりしなかったか。
- この「こころの通信表」の2学期に◎をつけるか。それとも○か。△がついてしまう人はいないか。少し心がけをかえて自分に厳しく、人にやさしくするだけで、こころの成績も変わってくる。あなたにしか自分を変えることはできない。
- 明日から13日間の休みに。授業はないが、みなさんの心と体と頭脳の成長は止まるわけではない。冬休みにしかできないことや体験をたくさんして心も鍛えてほしい。



子どものやる気を引き出すために ①

子どもはいずれ親離れをします。大切なのは、誰かに言われなくても、自分で決めて、自立して生きていけるように育てることです。ですから、子どものやる気を育てるには、子どもの中に自分でできるという自信を育てることが大切なのです。

○子どもの人格ではなく行動を褒める

しっかり宿題をさせたいのであれば、一度子どもと話し合って、どのように宿題をするかを決めてみるのです。その時に、「ここまでやりなさい」と言うのではなく、「ここまでやったらどう？」と勧めるのです。無理矢理ではなく、子どもが「いいよ」と自分から思えたときに、「じゃあ、そのとおりにやってみようか」というようにやらせるのです。やり遂げることができたら、褒めてやりませう。「ちゃんとやれたね」「今日は予定どおり済んだね」「がんばったね」と、子どもが成功したことを親が喜んでやるのです。このことが自信につながります。

ここで間違えてはいけないのは、「宿題ができていい子だね」「立派な子だね」などと言って子どもの人格を褒めるのではなく、「良いことをしたね」と行いを褒めることが大切です。人格評価は、主観的で相対的なものですが、行動は絶対的なものなのです。親が子どもに伝えないといけない大切なポイントの一つは、「行いをちゃんとしようね」ということなのです。(子育てボランティア代表 星一郎氏の話から)

福祉の心を養うために

今年度も甲運地区社会福祉協議会のご協力のもと、各学年で、「福祉講話」の時間を持つことができました。



この授業を生かし、みんなが幸せに暮らせる学校を目指して取り組んでいきます。ご協力ありがとうございました。



来月スーパームーン出現！

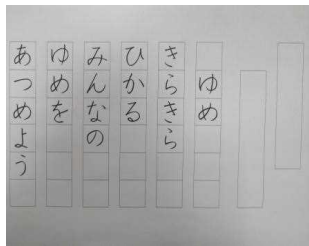
来年1月には、2回の満月がやってきます。1回目の満月は1月2日です。1年のうちで最も地球に近づくため、大きな満月(スーパームーン)になるそうです。1月31日も満月になりますが、この日は「皆既月食」(午後8時48分開始)が見られます。ご家族で眺めてみてはいかがでしょうか。



冬休みの課題の参考にしてください 整った字形を目指して

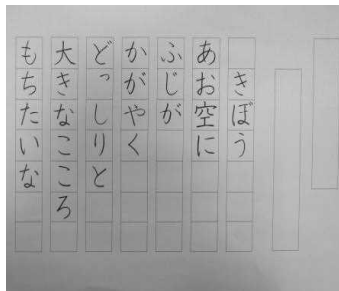
まず、「字形を整えて書く」ことが一番大切です。この気持ちを忘れずに練習させてください。書き初めの課題の文字の中にも「とめ」「はね」「はらい」「まがり」「おれ」など小学校6年間で身に付けなければならない大切な基本点画が含まれています。

1年



初めての書き初めです。丁寧に練習させてください。とにかく褒めることが大切です。上手に書けたら一字一字に丸を付けてあげてください。励みになります。

2年



「空・大」二つの漢字をやや大きめに書きます。「ふ」の形が難しいのでしっかり整えて書けるように練習します。「ぼ・な」の結びに注意させましょう。

3年



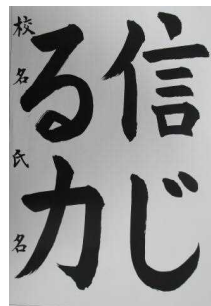
今回初めての毛筆です。「ま」「つ」の中心に気をつけながら字を整えていきます。「ま」の結びに気をつけさせてください。「つ」のカーブでは筆を少し浮かせてゆっくりと筆を動かしていきます。穂先の位置はいつも変わらないことを意識させてください。半紙を汚さないように気を付けながら書くことも大切です。

4年



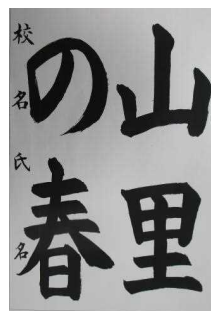
「天」には、左はらいと右はらいがあります。どちらもゆっくりはらうことが大切です。三画目は、一画目、二画目と交わるまで真っ直ぐ下ろしていくのが原則です。「地」の最終画「まがり」は、船底をイメージしながら伸びやかに上にゆっくり筆を上げていきます。

5年



漢字とひらがなのバランスが大切です。ひらがなはやや小さめに書きます。「信」は一画目が長くなりすぎないようにし、「力」は、一画目の「おれ」をしっかり意識し、二画目で穂先をまとめて慎重にはらうようにしましょう。画数が少ない「力」は、やや小さめに書くようにします。

6年



小学校最後の書き初めです。気持ちを込めて練習させてください。「山」「里」の上下の中心がそろうように書きます。「の」は「乃」という漢字からきたことも意識させます。「春」は、「日」の部分が上の右はらいに接することのないように気を付けて書くことも大切です。

心がほっとスマイル特集 2学期も子どもたちのがんばりに勇気をもらいました。



- ・「失礼します。」と言いながら、にこにこ校長室に入ってくる1年生の子どもたち。自信に満ちた表情を浮かべながら、手には自学ノートを持っています。「1冊目のノートが終わったのでみてください。」「はい、わかりました。よくがんばりましたね。」と私。ノートに「1冊目」のシールを貼ってやり、「自学ノート達成カード」を添えて渡すと、得意げに教室に戻っていきました。
- ・「校長先生は給食を食べましたか。」と、ある2年生の子どもが聞きました。「もう食べました。」と答えると、残念そうに、「私達の教室でも一緒に食べてください。」と声をかけてくれました。今度検食を半分にして、残りの半分を一緒に食べようと思います。
- ・清掃時間に、ゴミ拾いをしようとして外に出ると、決まって3年生がほうきで玄関前を丁寧に掃いている姿を目にします。「ごくろうさまです。ありがとうございます。」と言うと、「はい。」と少しはにかみながら、また、体を低くして掃き掃除に取り組んでいました。
- ・4年生の音楽で「smile again」を一緒に歌いました。私のすぐ横で、息継ぎの時肩を上げ下げしながら歌っている子がいました。息をしっかりと溜めて歌おうとしているのです。歌うことにこれほどまでに力を注いでいることを素晴らしいと思いました。
- ・5年生の教室に電話をかけると、「はい、5年の〇〇です。」歯切れの良い声が聞こえてきます。「電話の対応が上手ですね。」と私が褒めると、受話器の向こうで、「先生、校長先生から電話です。」と、嬉しそうな声が聞こえました。
- ・「総合的な学習の時間」授業の一環として、6年生がお年寄りの福祉施設に行き交流を深めました。数日後、放課後6年生の一人が「今日も〇〇施設に行ってきます。」と私に手で合図をして、私と握手を交わし施設に向かう頼もしい姿がありました。

